

神戸維新の会通信

発行：神戸維新の会 〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 1号館 29 階 TEL：(078) 322 - 0185 FAX：(078) 322 - 0184

身を切る改革・ムダの削減！

私たちは下記の点を訴えていきます

- ・ 議員定数削減
- ・ 議員報酬削減
- ・ 外郭団体の見直し
- ・ 費用弁償の実費精算
- ・ 医療費の無料化（中三まで）
- ・ 塾代助成（バウチャー制度）
- ・ 駅近保育所の整備
- ・ 女性の活躍社会

東灘区



外海 開三

■ 産業港湾委員会

中央区



光田 あまね

■ 企業建設委員会
■ 未来都市創造に関する特別委員会

須磨区



住本 かずのり

■ 文教子ども委員会
■ 外郭団体に関する特別委員会

北区



山本のりかず

■ 福祉環境委員会

西区



高橋 としえ

■ 都市防災委員会
■ 大都市行財政制度に関する特別委員会

ごあいさつ

春寒の候、皆様におかれましては益々ご健勝のことと、謹んでお慶び申し上げます。

昨年は、「維新の党」の分裂騒動でご心配をおかけしましたこと深くお詫びいたします。

国政において、前幹事長による他党候補者への応援が分裂への引き金となり、その波は地方にまで及びました。

維新が本来の維新であるためには、様々な色が混在した党を純化する必要があり、このたびの分裂騒動で政治家としての判断力と理念が問われました。神戸市会におきましては、それぞれの理念のもと進路を決め、行財政改革をスピード感を持って実行していく覚悟を持って、国政政党 **おおさか維新の会** 所属の維新スピリッツを持つ5人が結集し、新たな会派「**神戸維新の会**」として再出発いたしました。私たちは神戸市の抱える様々な問題に是々非々の立場で臨み、高齢者から若年層世代まで、これまで以上に住みよい街をつくっていきたいと考えます。

神戸から日本を元気にしていくよう5人が一丸となって、従来の古い慣習にとらわれることなくフレッシュ＆柔軟な発想で取り組んでまいります。引き続き、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

政務活動費問題に関してのご報告

私たちが主張してきました市政改革プランが7月20日に実現します！

政務活動費の領収書等 ネット公開（不正流用防止策）

経緯

平成27年 7月 「自民党神戸」（当時）市会議員団による政務活動費の不正流用問題について、報道がされました。

- 神戸市会 各会派の代表者会議を開催し、関係議員、政務調査員、印刷会社などから聞き取り調査を行ったところ、不正に取得された政務活動費が会派の議員らに選挙活動のための資金として配布されていた他飲食費や遊興費などに流用した疑いがあります。

不正流用の総額は約3,450万円にものぼり、断じて許されることではありません。

平成27年 9月 「政務活動費の適正使用に関する検討会」（以下「検討会」）を設置しました。

- 関係者から聞き取り調査を行い、関係書類の提出を求め、徹底的な原因究明に努めました。その後、兵庫県警に告発状を提出いたしました。

平成28年 1月 兵庫県警が告発書を受理。

- 詐欺と虚偽公文書作成・同行使の疑いで告発状を容疑者不詳で再提出し、受理されました。今後、真相解明に向けて本格捜査へ入ります。

再発防止策

平成27年10月 「検討会」では、二度とこのような不正支出が起らないよう、政務活動費の取り扱いを見直し、適正な運用を図るため、**16項目の再発防止策**を決定しました。

- 主なものとしては、領収書・調査委託の報告書・広報印刷物の市会ホームページでの公開、調査委託契約書の提出、第三者機関による監査、議長による出納検査 等。

平成28年 1月 「検討会」では、再発防止策として、以下の公開を検討しています。

- 政務活動費の領収書。（2015年4月～）
- 調査委託の報告書などの成果物。（2015年4月～）
- 広報印刷物と印刷枚数などの報告書。（2015年10月～）
- 航空・新幹線・特急料金などの領収書の提出。（2016年4月～）

平成28年 2月 議会で再発防止策に係る条例の改正案を審議します。



神戸維新の会 5人が一丸となって、市政改革プランに全力で取り組みます。

2016年 神戸市会 会期予定

2月～6月					7月～12月				
		議会	定例市会	委員会			議会	定例市会	委員会
1月	上旬				7月	上旬			
	中旬					中旬			
	下旬					下旬			
2月	上旬				8月	上旬			
	中旬					中旬			
	下旬					下旬			
3月	上旬				9月	上旬			
	中旬					中旬			
	下旬					下旬			
4月	上旬				10月	上旬			
	中旬					中旬			
	下旬					下旬			
5月	上旬				11月	上旬			
	中旬					中旬			
	下旬					下旬			
6月	上旬				12月	上旬			
	中旬					中旬			
	下旬					下旬			

■ 市会開会期間以外でも、6つの常任委員会などは必要に応じて開催します。（傍聴可）

■ お時間がありましたら、本会議の傍聴にお越しください。

（神戸市役所 1号館 南エレベータ 25階で傍聴手続きして下さい。本会議場は30階です。）

■ 神戸維新の会は市政相談 随時受付中です。（月～金、10時～17時）

神戸市役所1号館29階 神戸維新の会 控室まで お越しください。

活動報告

産業港湾委員会での視察報告

産業港湾委員会では、産業振興局及びみなと総局の所管に属する事項を審査します。適切な取り組みのため、管内施設やそれぞれの先進地を視察調査します。



神戸ポートターミナル

2015年1月に大阪より神戸ポートアイランドに本社・研究所及び工場を移転した「株式会社ナンバーズリー」を視察。ポートアイランドは「**関西イノベーション国際戦略総合特区**」に指定され、世界有数の知識が集う学術研究拠点となっています。(H27.7.15)



「**長崎県大村市おおむら夢ファームシュシユ**」へ行政調査。地産地消が基盤の6次産業化で地を活性化。売上高3億4,900万円(H12)→6億5,000万円(H21)、来訪者数約37万人(H12)→約49万人(H21)。大村市人口の5倍が訪れる話題のスポット。(H27.8.31)



長崎市行政調査(H27.9.1)

- 長崎市における商店街の活性化の取組について長崎市役所にて説明を受ける
- 積極的な取組をしている商店街「浜んまち商店街へ」視察へ



福岡市行政調査(H27.9.1)
クルーズ客船誘致説明と中央ふ頭クルーズセンターを視察。

福岡市行政調査(H27.9.2)
福岡国際会議場にてMICE誘致説明と同会議場視察。福岡は国際会議開催件数全国第2位。

神戸国際会議場・神戸国際展示場を視察。(H27.11.24)



新しい力が未来を開く!! 福祉●教育●子育て 神戸に維新!!

K A I Z O S O T O M I P R O F I L E

外海開三(そとみ かいぞう)●1970年1月芦屋市生まれ●芦屋市立山手中学校～兵庫県立芦屋南高校～国立台湾大学文学院哲学科卒業●家業である丸松株式会社(1904年創業)入社。台湾勤務を経て、中国上海現地法人を設立し法人代表を務めるなど、20年間にわたり海外でグローバルな経営感覚を養う。●帰国後、橋下徹代表の呼びかけに賛同し維新政治塾で学ぶ(第1期卒塾)●神戸青少年育友会理事長●平成27年4月神戸市会議員初当選●神戸維新の会 幹事長●西岡本6丁目在住

神戸維新の会 神戸市政報告

神戸市会議員 | 神戸維新の会 幹事長
そとみ かいぞう ●東灘区選出

外海開三

2016.1 vol.5

■神戸維新の会 神戸市会控室
〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1
TEL(078)322-0185 FAX(078)322-0184

■神戸市会議員外海開三事務所
〒658-0045 神戸市東灘区御影石町4丁目13-14
Tel&Fax.078-857-9620 E-mail:kaizo@sotomi.jp

ごあいさつ

身を切る改革。実のある改革。

皆さま方のご支援のもと、東灘区より神戸市会議員に初当選させていただきました外海開三です。議員活動を始めて約6カ月が経過いたしました。この間、地元行事などに積極的に参加させていただき、皆さま方から、貴重なご意見やご要望をお聞きすることができました。学びの機会を得て、心から感謝いたしております。

また、議員団を代表して、初めて本会議での質問に立たせていただきました。質疑の内容につきましては本紙中面でご報告させていただいております。ぜひご一読ください。

さて、神戸市民にとって最も身近な議員として働かねばならない立場にある私にとって、しがらみのある旧態依然とした組織には様々な問題点があるように感じました。維新らしさを純粋に希求する私たち一年生議員だからこそ感じる違

和感であったと思います。

そこで、12月9日、志を共にする若い仲間と共に**新会派「神戸維新の会」**を設立し、私は会派の代表として重責を担わせていただくこととなりました。

私たち「神戸維新の会」は、維新スピリットと覚悟をもって神戸市政に取り組んでまいります。スピード感をもって「身を切る改革」「実のある改革」を進め、新しい神戸の未来を開いてまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



活動報告

政務活動費不正流用問題について

「自民党神戸」市会議員団による政務活動費の不正流用問題について、検討委員会を立ち上げ、関係議員、政務調査員、印刷会社などから聞き取り調査を行ったうえで、兵庫県警に告発状を提出いたしました。しかしながら、平成27年12月末時点においてその告発が受理されておらず、真相解明に至っておりません。

不正流用の総額は約3,450万円にも上り、断じて許されません。今後も検討委員会などにおいて厳しく追及してまいります。

政務活動費のネット公開決定

政務活動費の不正流用防止策として、今年度(平成27年度)分より領収書等をネット公開することを決定しました。私の選挙公約や市政報告において、自身の政務活動費の使い道についてはインターネット上で公開すると申し上げてまいりましたが、神戸市会全体での公開となりました。

今年度末終了後、全ての政務活動費使用内容が確定した後に公開となります。平成28年7月下旬頃を予定しています。



本会議

平成27年12月8日

本会議において 一般質問を行いました クルーズ客船誘致について

■質問/外海開三

「都心商業地でのおもてなし環境整備事業」の一環として大型客船入港時に行われている、三宮周辺商業地でのコンシェルジュ配置や、ターミナルと市街地をつなぐ無料シャトルバスの便数などが十分ではありません。ソフト面の充実や、分かりやすいデザインに統一した多言語公共サインの整備が重要と考えます。

今後ますますの乗船客の増加が見込まれる中、海外からの観光客が快適に滞在できるようニーズをどのように把握し、どのような方針で受け入れ体制を整備していくのか。

■答弁/久元市長

街の案内サインについては、来年度からはデザインの観点からのバランスも考えながら国際都市神戸に相応しい統一された多言語表記になるようにしていきたいと考える。

おもてなし事業は更なる充実のためにコンシェルジュの増員や無料シャトルバスの運行数増加等を行い、一層の工夫をしてまいりたいと考える。

■要望/外海開三

今以上のにぎわい創出によって、「人・もの・金」が集まる港となるよう中期目標である年間入港隻数150隻の達成を要望いたします。

神戸ビエンナーレについて

■質問/外海開三

震災10年を機に「神戸文化創生都市宣言」を経て誕生した、2年に1度の芸術文化の祭典「神戸ビエンナーレ」ですが、震災20年を迎え節目となった第5回「神戸ビエンナーレ」が11月23日に66日間の会期をもって閉幕いたしました。今回のビエンナーレは、過去最高となる38万人が訪れたとのことですが、これまでの総括と今後の展開について、見解をお伺いいたします。

■答弁/玉田副市長

メリケンパーク会場においては、これまでテナだったのを今回は大型テントの広いスペースで参加型・体験型の作品が多く展示できたことから幅広い世代の来場者が楽しんでいただけたのではないかと思います。

また「神戸ビエンナーレCheers」という方たちによるガイドツアーやワークショップも非常に好評であった。このような新しい取り組みを行った結果、前回の来場者を上回る38万人の方に来場いただいた。市民が身近にアートを感じる機会を提供できたのではないかと考える。

地域発のアートプロジェクトそして他都市でのビエンナーレ・トリエンナーレなどが開催されており、市民が芸術に触れる機会も増えているので、芸術祭に対するニーズも色々多様化していると思う。このような現状も踏まえて市民や議会の意見をいただき他都市の芸術祭の状況をよく把握したうえで次回の在り方について議論していきたい。

■要望/外海開三

次回第6回「神戸ビエンナーレ」が開催されるのであれば、神戸港開港150年を迎える2017年です。港事業と芸術文化を対外的に知って頂き、また多くの方々に神戸へ来て頂く大きなチャンスでありますので、港事業とコラボした神戸らしい芸術祭となるよう検討の方よろしくお願い致します。



委員会

決算特別委員会において 質問いたしました

※紙面の都合上、外海開三の質問項目のみ掲載いたします。

●交通局 平成27年10月1日

1 利用者に配慮したバス停・バスターミナルの整備について
市内の停留所を見るとまだまだベンチ・上屋が設置されてない所が多いと感じる。今後の整備計画内容について。

2 需要に応じたダイヤの見直しについて
平成26年度の路線別営業収支を見ると、80路線中、赤字路線が58路線にものぼる。収支改善に取り組まなければならない。利用者ニーズにあった路線・ダイヤ設定になっていないのでは。

3 バス運転士の職業意識の向上について
出庫前点呼の検査でアルコールが検出され、乗務禁止となり、減給処分を受けた職員がいたと聞いた。再発防止策は。

4 イオンモールとの連携による海岸線の乗客増対策について
中央卸売市場本場の西側跡地にイオンモールができる。海岸線の利用者の増加を達成するために、どのような連携をしていくつもりか。

5 地下鉄職員の給与について

地下鉄事業が役所でなければできない理屈はないと思う。官民格差の是正、適正な給与水準にするために、どのように取り組んでいかれるのか。

6 交通局職員の通勤認定について

多少遠くても、市バス・市営地下鉄を利用できるよう認定基準を見直せば、これまで民間他社に渡っていた定期運賃が高速・自動車事業会計の収入に入り、少しでも収支改善が図れると思う。

●建設局 平成27年10月6日

1 不適切な事務処理及び再発防止策について
「建設局職員の公文書偽造」がどういう方法で行われたのか、詳細について説明を。再発防止はどのように考え、どう対応しているのか。

2 自転車利用環境の整備について

①阪神石屋川駅の放置禁止区域の指定について
阪神石屋川駅前近辺の放置自転車対策については、現状をどのように把握し、今後どのようにしていくのか。

②こうベリンクルについて
都心部の自転車利用に関する新たな取り組みとして強い関心をもって見ています。事業の目的や利用状況、採算性について。

3 ハザードマップの市民への周知について

自宅や地域の危険性について知らない市民(特に高齢者の中で)が、多いと感じております。さらに周知を進めていくための方策について。

新しい力が未来を開く!!

神戸維新の会 幹事長
神戸市会議員(東灘区選出)

外海開三

インターネットで本会議・委員会の動画配信中

神戸市会

検索

国際都市神戸を目指す取り組み

「G7保健大臣会合」神戸で開催決定

平成28年9月11～12日、神戸市において、G7(日本、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、カナダ)各国の保健担当大臣と、EU、国際機関等の保健担当者が一堂に会するG7保健大臣会合が神戸で開催されます。この会合は、平成28年5月開催予定の主要国首脳会議(伊勢志摩サミット)に関連して開かれる関係閣僚会合です。

私は6月の本会議で保健大臣会合開催を「医療産業都市神戸」の世界に向けたアピールの場としておおいに活かすよう提言しました。

夜景サミット開催～光の街「神戸」～

夜景鑑賞士検定合格者による投票結果をもとに、日本新三大夜景都市に神戸市が選ばれ、10月9日、「夜景サミット2015in神戸」が開催されました。「1000万ドルの夜景」と評価される神戸の夜景をより楽しめるよう、環境整備、商品化を目指します。

湾岸線西部延伸道路工事にルート変更を要望

本会議において、湾岸線西部延伸道路工事を神戸空港の価値上昇に寄与すべく、ルート変更を審議しました。

7年前に計画決定されたルートは、約30年前に計画されたものです。私が市会議員となる前に決定され、反対をしても取り消しできません。計画当時、ポートアイランドには神戸空港、大学機関、医療産業都市は建設されていません。

決定ルートの現状は、住宅街、大学、そして幼稚園等、人がひしめく中を走るルートとなっており、周辺住民、子供たちの健康被害が懸念されます。

私は住宅地を回避させ神戸空港の価値を上げるルートへの延伸を提言しました。関空と神戸空港を直結させ、車で約1時間となるルートです。

流通業界の利便性が增強され、そのまま神戸市西部へ一直線に抜けるルートは、神戸が誇る夜景や明石海峡に沈む夕日等、神戸の魅力を最大限にアピールする、いわば、横浜ベイブリッジや東京レインボーブリッジのようにデートコースにもなりえます(夜景遺産に寄与)。

平成26年5月、国家戦略特区として、大阪府、兵庫県、京都府が「関西圏」として指定されました。メディカルクラスターと神戸空港付近に湾岸線の出入り口を設置すれば、関西圏の特区も交通インフラとの相乗効果が見込めます。

ヒト・モノ・情報の流れをスムーズにする交通インフラは、時代に合わせて柔軟に対応すべきだと審議しました。

(神戸市会HP「平成27年第2回定例会市会第5日 平成27年7月3日」にて閲覧可能)

未来都市を創造する特別委員会

三宮周辺の再整備基本構想に取り組む

私は未来都市を創造する特別委員会に所属しています。

バスターミナルの整備と同時に新しいモノ・情報も取り入れるようにすべきだと渋谷等を例にあげ、提案しました。神戸・兵庫県に限らず、定期的に福岡、広島、岡山、大阪、名古屋、東京、横浜を視察しています。

港町である横浜、長崎を参考、比較し、現代的な建造物と神戸の伝統を融合させた「古き良き未来的な神戸」となる街づくりをするよう審議しました。

パリ、ジェノバ、東京のお台場と並ぶ、比類なき美しい観光都市神戸の創造を目指します。



市バスのマナー啓発 車内アナウンスの徹底

産業港湾委員会にて神戸港の活性化を審議



光田あまね ● 1977年8月/神戸市でサラリーマン家庭の長女として生まれる。● 甲南女子中・高～1999年/甲南女子大学英文学卒 ● 神戸メリケンパークオリエンタルホテル勤務～日本エアシステム(JAS)勤務。吸収合併で厳しい経営再建を経験～日本航空(JAL)客室乗務員として、国際線ファーストクラスで勤務 ● サービス接遇実務検定1級 ● 日本和装教育協会きもの講師準1級 ● 早稲田大学通信課程で高齢福祉を学ぶ ● 2015年4月/神戸市会議員初当選(4,985票) ● 未来都市を創造する特別委員会委員 ● 産業港湾委員会委員 ● 企業建設委員会委員 ● 神戸維新の会総務 ● ポートアイランド在住

神戸維新の会 神戸市政報告

新しい力が未来を開く!!

神戸市会議員 中央区選出

光田あまね

● 神戸維新の会 神戸市会控室 〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1 TEL(078)322-0185 FAX(078)322-0184

子育て●福祉●教育 現役世代に重点投資!!

2016.2

新会派「神戸維新の会」設立。

大企業でさえ赤字となり、リストラされることもある時代です。神戸は積極的に新しい取り組みをすすめ、日本国内を超え、国際的な競争力を持つ必要があります。

また、明治～戦後の急速な復興・発展のためには、現在のような中央集権が必要でしたが、すでに、一極集中体制では対処しきれなくなっています。地方分権をすすめ、画一的な財源分配ではなく、神戸の特性を踏まえた分配が可能となる権限を持つ必要があります。

私、光田あまねは、働く世代と高齢者が豊かに



2015年6月初登壇

生活できる都市として、神戸市に輝きを取り戻すため、日々取り組んでいます。

しかしなが

ら、神戸市民にとって最も身近な議員として働かねばならない立場にある私にとって、様々な問題があるように感じました。維新らしさを純粋に希求する一年生議員だからこそ感じる違和感であったと思います。

そこで、昨年12月9日、国政政党「おおさか維新の会」所属の若い仲間と共に新会派「神戸維新の会」を設立いたしました。

私たち「神戸維新の会」は、強い維新スピリットと覚悟をもって神戸市政に取り組んでまいります。スピード感をもって「身を切る改革」「実のある改革」を進め、新しい神戸の未来を開いてまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



▲NHKニュースKOBEO発

ポーターに新型車両!!ラッシュ時に増便!!

ポートライナーの新型車両「2020形」の営業運転が3月上旬から始まります。青空、山、海をイメージしたさわやかな塗装で仕上げられています。

内部は、いすの一部を跳ね上げ式の補助いすに切り替え、ラッシュ時間帯の輸送力を高めています。また、バリアフリー化のため、扉の開閉はランプと音で知らせます。出入り口の床はこれまでより4ミリ低くなり、乗り降りしやすくなりました。

また、3月28日実施予定のダイヤ改正で、ラッシュ時間帯を中心に平日の上りと下りが、それぞれ17本ずつ増便されます。



車内のブラズマクラスター
ドア開閉時の赤いランプ

身近な活動

市営住宅(中央区内)の火災警報ベルを30数年ぶりに交換

私が調査したところ、報告書漏れがあり、処置されないまま秋の点検期間を迎えていたことがわかりました。

中央区内すべての市営住宅を再チェックし、防災関連装置の交換が必要な箇所はすべて交換しました。

当該市営住宅の火災警報ベルは1981年製(34年前)のものでした。人命に関わる機器。更新目安期間は遵守していただくよう引き続き要望してまいります。



市バス2系統青谷線道路の全面的な修繕工事が決定しました。

道路が凸凹なため、騒音・振動が発生し、住民の方々の健康被害を生じさせる状況でした。

部分的ではなく、全面的な道路補修工事着工に向けて協議を行い、2016年1月に着工されました。これからも市民目線で必要箇所の改善を協議してまいります。



不必要かつ経年劣化した看板を撤去しました。

たとえば、ポートアイランド北公園西側に位置する看板など、不必要なものを撤去しました。

命を守る CA時代からの技術を活かす

消防局より市民救命士講習修了証をいただきました

客室乗務員時代からAED訓練を含めた救急避難訓練を毎年受講し、資格を保持しています。今回は地域主催の防災訓練に参加しました。

AEDとは心停止状態の人を救助するための医療機器です。飛行機内にも搭載され、急病人が発生した際に使用されています。

心停止者に対し、**AEDを使用した場合と使用しなかった場合を比較すると、1か月後の生存率は約6倍以上、社会復帰率は約10倍以上と**言われています。

AEDには救命に関する処置(患者の意識レベル・状態の確認、気道確保、心臓マッサージ、人工呼吸等)が必要で、心肺蘇生を含めた講習会の受講が推奨されています。皆様も突然の心臓停止による死亡からより多くの人々を救命できる市民救命士になりませんか?



応急手当講習会のご案内

神戸市では応急手当の知識と技能向上のため、講習会を実施しています。これまでに50万人以上の方々が市民救命士講習を受講しました。平成28年度上半期応急手当講習会日程を公開しました。下記へお問い合わせください。

神戸市消防局 市民防災総合センター市民研修係
078-743-3799(8:45~17:30)
※土、日、祝日の受付等は行っておりません。

安心安全の街へ、防犯カメラ設置を提言

中央区は兵庫県最大の市街地。防犯しすぎるということはないと考え、自治会等と防犯カメラ設置を提言しました。本会議にて防犯カメラの予算拡充に関する要望書を提出しています。引き続き活動を続けます。

街灯の点灯、道路チェック100力所以上を改善

中央区内を自転車でパトロールし、電球切れの街灯を改善しています。改善数は100力所をゆうに超えます。中央区は兵庫県最大の都市です。**犯罪抑止、危険防止の観点から街灯は重要**です。引き続き、照度を上げ、LED化するよう提言します。

「コミュニティサイクル」「コベリン」が便利

「コベリン」は、神戸市中心部の複数のサイクルポート(貸出、返却拠点)で自転車を自由に借りたり、返したりできるシステムです。100円(税込)～
<http://www.kobelin.jp/>



毒キノコを除去、神戸市HPに掲載

中央区内でも白いキノコが発生しています。私は、森林林業技術センターとともに調査し、「オオシロカラカサタケ」と判明しました。神戸市HPに掲載を依頼し、掲載されています。

このキノコは大阪などで食中毒事件となっています。発見した際はキノコに触れず、下記の森林林業技術センターにお問い合わせください。



●森林林業技術センター

電話:0790-62-2118

Eメール:Nouringe_shinrin@pref.hyogo.lg.jp

バリアフリーの街

ベンチ増設

本会議にて停留所を含め街の中にはまだまだベンチが足りないと提言し、増設を要望しました。

気軽に休憩できるベンチはバリアフリーや「歩きたくない街 神戸」を作ると考えます。高齢者、障がい者、観光客、妊婦さん、急病人など、人に優しい街「神戸」の一環として、近隣住民の方との調整をしながら、これからもベンチ増設に取り組みます。



2015年7月3日
本会議場にて

歩道補修工事始まる

神戸の街並みは、レンガ調の歩道と豊かな街路樹が特徴的です。そのため、樹木の根上がり、レンガによる

凹凸により、足場が悪い場所が多くありました。選挙期間中も転倒された方を介抱した記憶があります。

私は**数十力所以上写真撮影し、歩道補修工事を審議**してきました。**その結果、補修工事が始まることになりました。**



公園整備

より快適な公園環境、お子様の健やかな成長を目標に、市営住宅内の公園、老朽化したベンチの補修や遊具の塗装、除草等の改善を提言、実施しています。

決算特別委員会では、高齢社会対応の健康器具の設置等、公園の在り方について議論しました。



阪急春日野道駅 バリアフリー化を強く要望

駅員さんに許可をもらい、状況、情報を得、駅内を詳しく視察しました。

階段が長く、近隣に病院もあり、ベビーカー等、お手伝いが必要な方には駅員さんが対応している状況となっております。

神戸維新の会はバリアフリーを推進しています。**福祉環境委員会でエレベーター設置を審議しています。**



多くのご意見ご要望をお聞きしました

- 神戸をきれいで元気な街にしてね。(90代女性)
- 安心して子育てができる街にしてください。(30代女性)
- 神戸の経済をなんとかしてください。(30代男性)
- 女性も働きやすい社会にしてください。(20代女性)

神戸維新の会市会議員団は、強い維新スピリットと覚悟をもって神戸市政に取り組みます。

新しい力が未来を開く!!

神戸維新の会
神戸市会議員(中央区選出)

光田あまね

インターネットで本会議・委員会の動画配信中

神戸市会 検索

活動報告

福祉環境委員会行政視察について

H27.8.31~9.2

大牟田市地域包括ケアシステム

大牟田市は、認知症の方々に対しての取り組みが充実しています。各事業所推薦の職員を認知症コーディネーターとして養成し、認知症の相談業務を実施。また、認知症を防ぐ介護予防教室を開催する等の取り組みを行っています。さらに、小中学校においては絵本を題材に、認知症への理解を促すための授業も実施しています。

神戸市でも認知症の専門家を養成し、小さな地域単位でケアに取り組むべきと考えます。

認知症熊本モデル医療提携について

熊本県においては、熊本大学医学部附属病院が中心病院となり、県内の病院と連携して、各病院を「基幹型」と「地域拠点型」と役割を明確にして、認知症の専門医が配置されています。認知症の方々に対しては、基本的には「地域拠点型」病院が対応し、対応が困難な場合は「基幹型」病院が対応するという仕組みです。

また、かかりつけ医の先生方を対象に、認知症サポート医養成研修を実施。介護従事者に対しては、認知症介護に対する「指導者養成研修」

を受講して「認知症ケア・アドバイザー」として施設へ研修のため派遣する事業を展開しています。

最後に、認知症を正しく理解していただくため、「認知症サポーター」制度を設け、幅広い年代の方々や事業所が授業を受講すれば「認知症サポーター」となる取り組みを行っています。現在、熊本県民の8人に1人がサポーターになっており、認知症に対する理解が広がっています。

九州大学の水素プロジェクトについて



CO2削減に向け、九州大学水素エネルギー国際研究所において、2003年より産学官連携プロジェクトを開始しています。大学内で電気を作り、その電気で水素を製造しています。

大学内にある水素ステーション設備とトヨタ燃料電池自動車FCVを視察しました。これからの低酸素社会実現に向けた取り組みの一つの手段として期待したいと考えます。神戸市においても、取り組みを検討している段階です。

活動報告

身近な課題に取り組んでいます

福祉

神戸市北区にある市立柏寿園、市立ひよどり台ホームを、民間事業者によって新たに整備するとになりました。

地域の歴史と伝統文化を保存

北区の農村歌舞伎や茅葺き屋根、神社仏閣を守っていくことの重要性を発言しています。



自然エネルギー

(再生可能エネルギー)「木質バイオマス発電」を実施すべきと提案。神戸市環境基本計画に重点施策として採用していただきました。

神戸市主催のハンター体験に参加

ハンター体験に参加して、現場の意見を伺ってまいりました。野生鳥獣問題にも取り組んみます。



道路補修や雑草駆除、山林の標識修繕

道路補修や雑草駆除を実施。また、兵庫県と協力して、山林標識を修繕。また、山の保全活動や河川修復を実施。



地域の祭りやイベント、消防団訓練に参加

地域の自治会や各種団体の役割がますます大切になってきています。



子育て・福祉・教育 現役世代に重点投資!!

N O R I K A Z U Y A M A M O T O P R O F I L E

山本憲和(やまもと・のりかず) ● 1975年11月生まれ(40才) ● 神戸市立山田小学校～私立甲南中学校～私立甲南高等学校～国立滋賀大学経済学部企業経営学科卒業～民間企業勤務 ● 橋下 徹代表(当時)の呼びかけに賛同し、維新政治塾で学ぶ(1期生)～日本維新の会・大阪維新の会職員として政策・実務を経験 ● 平成27年4月神戸市議員初当選(8,093票) ● 主な役職等: 神戸維新の会副幹事長/福祉環境委員会委員/神戸市環境保全審議会委員/神戸市市民福祉調査委員会委員

神戸維新の会 神戸市政報告

新しい力が未来を開く!!

神戸市会議員 北区選 神戸維新の会副幹事長

山本のりかず

■神戸維新の会神戸市会控室/〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1 TEL(078)322-0185 FAX(078)322-0184
■山本のりかず事務所/〒651-1243 神戸市北区山田町下谷上字梅木谷23番地16-208 TEL&FAX(078)-907-5601

2016.3

ごあいさつ

「神戸維新の会」がめざす市政

昨年12月9日、国政政党「おおさか維新の会」に所属する私たちは、新会派「神戸維新の会」を設立いたしました。強い維新スピリットと覚悟をもって神戸市政に取り組み、「身を切る改革」「実のある改革」を進めてまいります。

また、議会の古い仕組みを改革し、さらに透明性を高め、市民の皆さまと同じ視点、同じ感覚

で神戸市政をチェックしてまいります。

神戸市民の皆さまが誇れる、政令指定都市にふさわしい安全・安心のまちづくりを進めるために、積極的に発言し、行動してまいります。



活動報告

政務活動費不正流用問題について

昨年の市議員選挙の直後、「自民党神戸」市会議員団による政務活動費の不正流用が明らかになりました。市民の皆さまからお預かりした税金がこのような使い方がされることはあってならず、議会を改革していく必要があると痛感いたしました。ただちに検討委員会を立ち上げ、関

係議員、政務調査員、印刷会社などから聞き取り調査を行ったうえで、兵庫県警に告発状を提出。受理され真相解明に向け、捜査が本格化しています。不正流用の総額は約3,450万円にも上っており、断じて許されません。私たちは今後も厳しく追及してまいります。

政務活動費のネット公開が決定しました。

政務活動費の不正流用防止策として、今年度分より領収書等のネット公開を決定しました。不祥事が発生しないためにも、情報公開を積極的に行うことが必要です。政務活動費の適正使用に関する検討会で下記の事項が決定しました。※今年度が終了し、政務活動費使用内容確定後に公開(平成28年7月下旬)します。

- | | | |
|--------------------------|--|--|
| ①領収書のネット公開。 | ⑨会派内での後払い方式の徹底。 | 振込を原則とすること。 |
| ②請求書・納品書の提出。 | ⑩領収書のみで支払を行わない。 | ⑭神戸市会政務活動費の交付に関する条例に、会派の責務等の規定を新たに設けること。 |
| ③調査委託契約書の提出。 | ⑪会計責任者及び担当者への定期的な講習。 | ⑮調査委託における成果物(調査報告書)のネット公開。 |
| ④広報印刷物の提出。 | ⑫広報印刷物の作成にあたって、成果物に合わせて請求書、納品書、領収書を議長に提出するが、その際、配布方法、内容の詳細を明らかにすること。 | ⑯広報印刷物のネット公開。 |
| ⑤広報印刷物の作成枚数の報告。 | ⑬支払いについては現金払いではなく | ※広報印刷物の作成枚数については、ネット公開される領収書のただし書において明らかにすること。 |
| ⑥アンケート調査のバックデータの会派保存。 | | |
| ⑦第三者機関(税理士・公認会計士等)による監査。 | | |
| ⑧年数回の議長の出納検査。 | | |



平成27年度第2回定例市会で 一般質問を行いました

地域包括ケアシステムの推進

■質問/山本のりかず

市長は、平成26年第2回定例市会において、高齢化が進展する中、高齢者が適切な医療や介護を受けながら、安心して在宅生活を送るためには、2025年に向けて地域包括ケアシステムの構築が喫緊の課題であり、とりわけ医療と介護の連携を図る上での環境整備が必要であると発言された。今後の神戸市政における地域包括ケアシステムの具体的な方針について伺いたい。

■答弁/久元市長

2025年の地域包括ケアシステムの完成のためには、様々な職種間でのしっかりと意見交換を行い、合意の形成が必要であるという考え方である。現在、各区に、医療・介護関係者からの在宅医療に関する相談受付や情報提供、他職種連携会議の開催や退院調整等のルールづくり、在宅医療に関する市民啓発や医療・介護関係者への研修等を実施するためのコーディネート機能が必要との議論を医療関係者等と進めている。

介護人材確保について

■質問/山本のりかず

厚生労働省が発表した推計によると、2025年には介護職員が全国で約38万人不足するとされている。そこで、本市としてどのように介護職員の確保や育成に向けて取り組んでいくのか。具体的なスケジュール、数値目標を伺いたい。

■答弁/久元市長

介護職員の人材確保については、大変難しい問題であると認識しています。

平成37年度には、本市としてもさらに約1万人を確保しなければならない。介護報酬について、報酬額の設定の仕方を含め、できるだけ人材確保に配分していくよう、今後国に強く提言していく必要があると考える。

本市としては、国の方針に示された役割分担に基づき、介護保険施設に職員に対する研修や入職後3年目の介護職員の技術習熟度を認定する制度等を実施してきたところであるが、本市単独で何ができるかということを検討してまいりたい。

神戸港と東南アジアの港提携について

■質問/山本のりかず

神戸港と姉妹港の関係を結んでいるのは、アメリカのシアトル港、オランダのロッテルダム港、中国の天津港の3港である。時系列に確認すると、シアトル港は1967年(昭和42年)、ロッテルダム港は1967年(昭和42年)、天津港は1980年(昭和55年)に姉妹港になっています。神戸経済の発展を見据えた上で、新たな提携先の港を獲得していく必要があるのではないかと。東南アジアにも目を向けて、姉妹港又はパートナーシップ港を締結すればいいのではないかと。

阪神大震災以降元気がない神戸港だが、世界の神戸港として羽ばたくためにも何かアクションを起こして、前進していくことが必要と考えますが、見解を聞かせていただけますか。

■答弁/岡口副市長

ベトナムのハイフォン市について、多くの日系・外資系企業の進出が期待されることから、平成25年12月にハイフォン市との間で港湾・経済の分野を中心として、相互交流促進に関する覚書を締結し、ハノイ市と共同で「神戸港セミナー」を開催しました。平成26年度からは、神戸から技術者を派遣し、またハイフォン港からも研修性を受け入れている。

今後は、インドネシア、ミャンマー、カンボジアなどの港湾整備により、両港にとって経済的なメリットのある実務的な連携や交流促進、いわゆるビジネス促進が必要ではないかと考えています。

2017年には神戸港150周年を迎えるが、この際に東南アジア諸港との国際会議を計画している。



平成27年度決算特別委員会で 質問を行いました

■質問/山本のりかず

公金収納について、金融機関以外にコンビニエンスストアによる収納やクレジットを使った収納等が導入されていると伺っています。このような収納方法の多様化は、市民サービスの向上の観点から、さらに進めていくべきだと思います。他都市では、マルチペイメントが導入されると伺っています。今後、会計室としてどのように取り組んでいくおつもりか、御意見をいただけますでしょうか、お願いします。

■答弁/小島会計室長

御指摘のように、いつでも市民が身近な場所で納付できるといったような方法は利便の向上が図られますし、収納率も一定向上されるのではないかといいことが期待をできるというメリットがございます。一方で、そういう収納の方法を拡大する、あるいは変更するということになってまいりますと、システムそのものの変更が必要で、手数料の経費が一方ではふえるというデメリットもございます。

御指摘のマルチペイメントも、先進的な事例のメリットなりデメリットなりを十分把握して、所管課とともに考えてまいりたいと考えております。

■質問/山本のりかず

区役所には指定金融機関の派出所がございますが、営業時間はどうなっていますか。昼休み時間は窓口を閉めていると聞いていますが、市民サービスの観点から、昼休み時間の営業や、営業時

間延長等は要望できるのでしょうか。また、派出所に派遣する行員について、生活保護費の支給日等の繁忙期と、それ以外で派遣する人数を変更する等、臨機応変な対応はできますか。

続けて、審査担当業務に関しまして、区役所会計室との連絡調整業務があると聞いております。業務効率の観点から、そのような仕組みを変えることができるのか、また会計室として、今現在、ファイルでいろいろと管理していると聞いていますが、電子化、業務の一元化、ペーパーレス化等ができるのでしょうか。

■答弁/小島会計室長

まず1点目について、昼1時間は窓口を閉めておるといのが実情です。これにつきまして、三井住友銀行に対し、この昼休み時間帯の窓口の開設を要望はしておりますけれども、今現在、出動の行員の方が1名になっており、昼をあげようとする2名配置が必要になってまいります。費用負担の関係で、この体制は非常に困難です。ただ、納付される方に御不便をおかけするといったことがあってはなりませんので、銀行の窓口が閉まっている間は、例えば区役所ですと市税事務所ですとか、あるいは保険年金医療課などのそれぞれの所管の課で、お金の収納を受け付けるようにしております。

それからもう1点、区役所の審査の関係で、政令市の場合自治法によりまして各区役所に区の会計管理者を置くという定めになっています。したがって、出納業務につきましては、区の会計室で審査をし、お支払いするというようになっております。各区で審査の考え方が違うといったようなことでは困りますので、本庁の会計室のほうで、区との連絡調整を行っているというのが実態です。

ただ、ICT化等の観点というものは大変重要でございます。市の会計室も含め、区の会計室、市の会計室ともども、会計業務としてどういった効率化ができるのかといったことにつきましては、できるだけ書類を減らすという観点も大事でございますので、ICT化も含め、課題として今後とも十分考えてまいりたいと思っております。

新しい力が未来を開く!!

神戸市会議員(北区選出)
山本のりかず
神戸維新の会
副幹事長

インターネットで本会議・委員会の動画配信中